

奈良発！未来を創造するグローバル・リーダー育成プログラム

研究開発の背景

- OSGHで明らかになった課題の改善
- ・教科間連携を発展させ指導改善すること。
 - ・地域を舞台に自己の将来像と結び付け研究を深化させること。
 - ・SGHのレガシーを一層活用すること。

課題研究を核にして、パワフルで創造的な次代の地域リーダーを育成する

研究開発実施体制

(コンソーシアムの構成等)

【コンソーシアム】(管理機関・実施校以外)

- ・地方行政(橿原市、奈良県)
- ・大学等(奈良教育大学)
- ・関係機関(UNWTO(国連世界観光機関)、ナラファミリー&フレンド(在日外国人支援NPO))
- ・地元企業(マサキ株式会社)

【地域協働学習実施支援員】

国際教育、課題研究指導立案の経験者1名

【海外交流アドバイザー】

教育及び海外でのビジネス実務経験者1名

管理機関・実施校

令和3年度の目標／取組状況

- ※【目標】…下記の各項目
 ※【取組状況】…黒字は予定を超えた実施が、赤字は未達があったことを示す。いずれも()内がその具体である。他は予定通りの実施。

- ①教科間連携と指導改善
 - ・「課題研究」における教科間連携の強化(第2学年全員履修で実施)
 - ・「総合的な探究の時間」学習指導研究会における取組発表
 - ・従来取組の指導改善(ADコース指導改善、研究発表会への参加)
- ②キャリアと接続した研究の深化
 - ・「課題」に当事者意識をもたせる指導の実施
 - ・外部講師招聘による講演会・ワークショップの実施
 - ・留学生の派遣、受入れ
- ③外部コンテストへの参加
 - ・各種検定、コンテスト等への参加
 - ・国際理解教育、交流、海外研修旅行等の取組(新型コロナウイルス対応のため中止)
- ④事業全体の企画・進行
 - ・地域企業、NPO法人との連携
 - ・コンソーシアムの管理運営(協力体制の強化)
 - ・新カリキュラムへの対応
 - ・業務分担

今年度事業のポイント



全生徒を対象とした少人数指導による「課題研究」の深化及びポスター形式による「課題研究発表会」の実施



外部発表にオンラインによる参加「全国高等学校グローバル型探究オンライン発表会」、「奈良TIME総合的な探究の時間 学習研究発表会、WWL構築支援事業」課題研究発表会への参加



コンソーシアム機関を中心とした地元企業・人材と協働、多分野にわたる外部講師の招聘

成果と課題

成果

- (1)従来取組の継承と発展
 - ・事業終了後の自走に向けた課題の整理及び共有
 - ・地域におけるネットワークの拡大
- (2)「課題研究」の深化
 - ・「課題」に関わる力の育成
 - ・「課題研究」を通じた教科横断型の体制づくり
 - ・「理数探究」開設に向けた準備

課題

- (1)指導体制の強化
 - ・有識者への「中継役、媒介役」
- (2)研修旅行の実施
 - ・専門委員会で継承改善
- (3)実施体制の検討
 - ・指導体制の強化継続
 - ・教科間連携の拡充
 - ・進路、将来像の意識付け